

「コミカル版日本の神話・創世紀」

作・渡辺かずのぶ

アメノミナカヌシ	男神女神区別なし
イザナギ	男神
イザナミ	女神
アマテラス	女神
ツクヨミ	男神
スサノオ	男神
オモイカネ	男神
タヂカラオ	男神
アメノウズメ	女神
アメノコヤネ	男神
フトダマ	男神

暗闇の中、大轟音の雷鳴。

激しく、爆発するように、稲光が瞬く。

しばらくすると一気に静寂が訪れる。

中央にスポットライト。

中央にたたずむ神、アメノミナカヌシ。

アメノミナカヌシ 高天原（たかまがはら）の天上世界に生まれし我の名はアメノミナカヌシ。この世は天上世界と地上世界、死者の世界に分かれた。これより、私に続く神々を生み、世界を創造する。

また雷鳴が轟き、上手側と下手側にスポット。

イザナギ 我の名はイザナギ。

イザナミ 我の名はイザナミ。

アメノミナカヌシ 二神よ。大地を創造せよ！

アメノミナカヌシ、去る。

イザナギ、イザナミ、矛を振り上げる。

イザナギ 夫婦となりし、我らはこれより子を産む。

イザナギ、矛を振りかざし、

イザナギ まずは伊予の島！

イザナギ、別の方向に矛をかざし、

イザナギ 次は、隠岐（おき）の島、九州、壱岐（いき）の島、対馬（つしま）、佐渡島（さどがしま）、本州！

イザナミ、矛を受け取り、

イザナミ 次に生みしは自然界の神々！

イザナミ、矛を振りかざし、

イザナミ 石の神、家の神、風の神、海の神、港の神、山の

神、川の神。どんどん産むわよ！

イザナギ、イザナミから矛を受け取り、イザナ
ミに向けて、

イザナギ 火の神！

ブオオオと火が燃え上がる音。

イザナミ あっつい！ あっつい！ 死ぬ！ 死ぬって！

イザナギ イザナミー！

イザナミ、倒れる。

イザナミ (吐く) おええええええ！

イザナギ おお、イザナミの吐瀉物(としゃぶつ)から、金属
や粘土の神が生まれている！？

イザナミ ああ、もう、私、だめ……。

イザナミ、倒れる。

イザナギ イザナミー！

イザナギ おのれ、火の神め！

イザナギ、矛を振り下ろす。

イザナミ 私は死にましたので、黄泉（よみ）の国へと向かいます。

イザナギ いや、待ってくれ。イザナミがいなくては、私は寂しくてやっていけない。我らは神だ。黄泉（よみ）から戻ることまできる。

イザナミ では、わたくしの姿を見ないことを約束してください。

イザナギ どういうことだ？

イザナミ とにかく私の姿は見てはいけないのです。

イザナミ、駆け走って退場。

イザナギ 見るなど言われれば、見なくなる！ イザナミー！

イザナギ、イザナミを追っていく。

イザナギ、あとずさりしながら戻ってくる。

イザナギ ちよつと待った。ちよつと待った。お前、誰だ？

イザナミ、おどろおどろしい恰好で出てくる。

イザナミ あれだけ見るなど言ったのに。この馬鹿亭主が！

イザナギ だからお前、誰だって？

イザナミ イザナミに決まってるでしょう！ 黄泉（よみ）の

国の腐乱物（ふらんぶつ）を食べたおかげで、こんな姿にな
っちまったのさ。

イザナギ いや、もう無理。そんな姿じゃ一緒に暮らせないっ
て！

イザナミ だから見るなど言ったのに！

イザナギ ああ、おれは一体、なんてことを。もうだめだ。俺

たち夫婦は終わりだ。終わり。

イザナミ ああ、そうですか。だったら、私は仕返しに一日千
人の人間を殺します。

イザナギ 千人!? 何? それ俺への当てつけなの。二人で産んだ大地と命なのに!

イザナミ 約束を破ったあなたが悪い。こんな姿になって、まともにいろってほうが無理なのよ!

イザナギ よーし、そっちがその気なら、私は一日、千五百人の人間を生み出そう!

イザナミ 人間の死は私が与えます。

イザナギ 人間の生は私が生み出す。

イザナミ この姿を見られたからには、あなたを殺して……。

イザナギ そういうわけにはいかんのだ。わしは逃げる。

イザナミ 待てー!

逃げるイザナギを追って、イザナミ退場。

イザナギ、入ってくる。

イザナギ 天上世界までは追っては来れまい。イザナミめ。黄

泉(よみ)の国で穢(けが)れた身を洗わなければ……。

イザナギ、左目を洗うしぐさ。

ポンと現れるアマテラス。

イザナギ、右目を洗うしぐさ。

ポンと現れるツクヨミ。

イザナギ、鼻を洗うしぐさ。

ポンと現れるスサノオ。

イザナギ、周りを見渡して、

イザナギ ああ、また神が生まれたか。おれは何をやっても神が生まれる。

アマテラス 私の名はアマテラス。

ツクヨミ 私の名はツクヨミ。

スサノオ 私の名はスサノオ。

イザナギ 顔を洗って、神が生まれるなんて、おれもよつぽどの神だね……。

イザナギ、身を正して

イザナギ アマテラス、おぬしには高天原（たかまがはら）

を。ツクヨミ、おぬしには夜の国を。スサノオ、おぬしには

海の国を任せる。三神で統治せよ。

アマテラス・ツクヨミ・スサノオ はっ！

アマテラス、ツクヨミ、スサノオ、去る。

イザナギ そうだ、イザナミがここまで追って来れないように、大岩で入口を塞いでおかないと。

イザナギ、大岩を持ってきて、舞台中央奥に置く
くへこの岩はのちほど、天岩戸に使用する
ツクヨミが入ってくる。

ツクヨミ イザナギ様、大変です。

イザナギ どうした？

ツクヨミ スサノオが海の統治をほっぽらかしているおかげで、川は干上がり、山は枯れ果ててしまいました。

イザナギ なんだと！

ツクヨミ 地上世界をご覧ください。

イザナギ どれどれ……見えん。

ツクヨミ えっ？

イザナミ 夜の国のお前がいるから見えん。アマテラスを呼んで来い。

ツクヨミ はっ！

ツクヨミ、アマテラスを連れて戻ってくる。

イザナギ おお、アマテラス、地上世界を照らしておくれ。

アマテラス はい、今すぐに。

アマテラスが中空に手をかざす。

イザナギ げげっ！

ツクヨミ ねっ！

イザナギ スサノオのばかったれ。何やってんだ！

アマテラス わたくしが聞いた話では、ずっと一晩中泣いているのだとか……。

イザナギ 泣いている？

ツクヨミ イザナミ様が亡くなっているのを嘆いているのだと

か。

イザナギ あれとはもう離縁した。なぜなら黄泉（よみ）の国の者となり死者となったからだ。

アマテラス しかし、イザナミ様の死から生まれた、わたくしたちにとっては、イザナミ様は母です。

イザナギ うーん……。

イザナギ、腕組みをして、

イザナギ スサノオを呼べ！

ツクヨミ、スサノオを呼んで戻ってくる。

スサノオ、ひどくしょんぼりしている。

イザナギ スサノオ、わしはおぬしに海の国の統治を任せたのにいったい、何をやっているのだ。地上世界を見てみよ。めちやくちやではないか！

スサノオ まったくやる気が出んのです。

イザナギ お前、神だぞ。己に課された役目を果たせ。

スサノオ 母に会いたい。

イザナギ 黄泉の国に行ってはならんぞ。おぬしも死者になる
ということだ。

スサノオ 母ともつとふれあいたかった。話をしたかった。私
は母がどんな方かさえ、知らないのです。

イザナギ それはスサノオ、お前ばかりではない。姉のアマテ
ラスも兄のツクヨミもお前と同じく母を知らん。

スサノオ ……。

イザナギ 役目を果たす覚悟はあるか？

スサノオ ……。

イザナギ いいか、スサノオ。最後のチャンスだ。役目を果た
す覚悟はあるか？

スサノオ ……。

イザナギ その無言はないということだな。このため息子め。

お前は天上世界から追放とする。二度と戻ってくるな。

アマテラス イザナギ様！

ツクヨミ イザナギ様、そればかりはどうかご容赦を！

イザナギ 勘弁ならん。神は世を統治せねばならんだ。それ
を怠ると言うのなら、神の資格はお前にはない。立ち去れ！

スサノオ、イザナギの襟首をつかむ。

イザナギ なんだ、お前、わしとやるのか。この父とやるのか。

スサノオ うう……。

イザナギ その手を離せ！

スサノオ うう……。

イザナギ その手を離せと言ってるんだ！

イザナギ、スサノオの手を掴んで引き離そう
とするが、ピクリとも動かない。

イザナギ 腕つぶしの力だけは自慢か。

アマテラス スサノオ、やめなさい！

ツクヨミ スサノオ、お前は何ということをして！

アマテラス、ツクヨミ、イザナギから、スサノオを引きはがす。

イザナギ スサノオ、お前は永遠に天上世界から追放だ。二度
とわしの前に現れるな！

イザナギ、去る。

スサノオ おのれ、許さん！

スサノオ、去る。

アマテラス ツクヨミ、どうしましょう？

ツクヨミ どうしましよと言われましても。

アマテラス スサノオはこれからどうなるのでしょうか？

ツクヨミ 天上世界からは戻ってこれないかと……。

アマテラス この天上世界を恨むのではないですか？

ツクヨミ さあ、どうでしょうか？

ヒヒーンと馬の啼き声が聞こえる。

ツクヨミ あっ、あれをご覧ください！

アマテラス ……。

ツクヨミ 馬の皮を剥いでる……。

アマテラス 田畑を壊している。

ツクヨミ ああ、神殿に糞（くそ）をまき散らしている。

アマテラス なんと恐れ多いことを。

ツクヨミ 天上世界への復讐だ……。

アマテラス ああ、なんと恐ろしい。きっとスサノオは私たちも殺しに来るでしょう。私は逃げます。

ツクヨミ どこに？

アマテラス あの岩戸の中です。

ツクヨミ それはなりません！ 姉上は太陽の神。

アマテラス 命が大事なの！

アマテラス、舞台中央奥の岩の奥に引っ込む。

照明、一気に暗くなる。

ツクヨミ ああ、なんとということだ。太陽がなければ、世界は

暗闇になってしまう。イザナギ様、イザナギ様！

ツクヨミ、駆け去る。

オモイカネ、タチカラオ、アメノウズメ、アメ
ノコヤネ、フトダマ、入ってくる。

オモイカネ ここかあ……。

アメノウズメ アマテラス様はこの岩戸の中に？

アメノコヤネ そうらしい。

オモイカネ タチカラオ、お前、力持ちだろ。あの岩、動かせるか。

フトダマ 力づくで出すんですか？

オモイカネ しょうがないだろ。アマテラス様は太陽の神。太陽がなくなるとフトダマ、何が起こるかわかるか？

フトダマ 世界が暗くなります。

オモイカネ それだけじゃない。このままだといずれ世界はマ
イナス2000度になる。川も湖も凍る。木々の緑も枯れ果て
る。生物は、生きられない。

フトダマ わおっ！

オモイカネ わおっ、なんて言ってる場合じゃないぞ、タチカ
ラオ、何としても岩戸を開ける。

タチカラオ がってん承知！

タチカラオ、岩戸をつかみ、何度も動かそうとするが、岩戸はびくとも動かない。

タチカラオ うぬぬぬぬ……。

オモイカネ よしつ、八百万（やおろず）の神たちよ。みんな
で岩を動かすぞ。

神たち おう！

神々たち、みんなで岩戸を動かそうとする
が、まったく岩戸は動かない。

オモイカネ やつべえ！

アメノウズメ やつべえ？

オモイカネ すまんすまん、思わず本音が漏れた。

フトダマ この岩戸、すさまじい重さ。タチカラオでも動かない。
い。みんなでやっても動かない。

アメノコヤネ アマテラス様は、この岩を開けて、中の洞窟に

入り、また中から閉めたってことですよね？

オモイカネ まあ、そうなるな。

アメノウズメ タチカラオ、アマテラス様、お前より怪力だわ。しかも女神（によしん）なのに。

アメノウズメ アマテラス様が手で、この岩戸を開けるわけないでしょ。神通力使ったのよ、神通力。

フトダマ やっぱりアマテラス様、神通力半端ないかあ。

アメノウズメ 世界を照らす力がある方なのよ。

アメノコヤネ でもどうする？ この岩、どけないとアマテラス様、出せないぞ。

オモイカネ 自分から出てきていただくしかないんだよな。

タチカラオ うーん、頭を使うのはおれは苦手だ。

オモイカネ よしつ、どうやって、ここからアマテラス様に出てきていただくか、みんなで考えよう。

神々たち、舞台中央に集まる。

神々たち、腕組みをして考え始める。

フトダマ そもそもスサノオが悪いんだよ。天上世界で乱暴狼

藉（らんぼうろうぜき）なんて働くから。

アメノウズメ そうねえ。

フトダマ アマテラス様はスサノオを怖がって岩戸の奥に隠れちゃったわけだろ。

タチカラオ スサノオ、殺すか？

神々たち ……。

アメノコヤネ いや、たぶん、あいつめっちゃ強い。こっちが殺される。

神々たち ……。

オモイカネ まず、アマテラス様の怯（おび）えを取り除かねばなるまい。

タチカラオ うむ。

フトダマ うまいものでも並べて、みんなで食うか？

アメノウズメ それで？

フトダマ うまい、うまいとみんなで言ったりあ、アマテラ

ス様も食べたくなくて出てくるかもしれない。

アメノウズメ それ、子供のやり口じゃん。

オモイカネ いや、ありかもしれん。まずは出てきてもらわなければ、我らの願いも伝えられん。

アメノコヤネ よしつ、みんなでうまいものをとにかく掻き集めて持ってこよう。

神々たち、それぞれの方向に散らばり、皿に乗せた食べ物を持ってくる。

オモイカネ おお、フトダマ、これはうまそうな団子だなあ。
フトダマ 私は団子が大好きで。

オモイカネ おつ、アメノウズメはミカンかあ。
アメノウズメ フルーツ好きなんで。

オモイカネ おいつ、タチカラオ、これなんだ？
タチカラオ チップス。

オモイカネ お前なあ、これ、日本創世紀なんだぞ。チップスとか出して来ちゃだめだろ。

タチカラオ そんなこと言ってる場合ですか。アマテラス様を岩戸から出さないと世界が終わるってときに。

オモイカネ (不機嫌そうに) アメノコヤネ、これなんだ？
アメノコヤネ チョコレート。

オモイカネ お前ら、アマテラス様、岩戸から出すためなら何

でもありか？

アメノコヤネ そういうオモイカネは何を持ってきた？

オモイカネ ジュース。

アメノコヤネ 紙パックに入ってるじゃねえか。それもおかしいだろ。

オモイカネ ……。

タチカラオ まあまあ、みんなで持ち寄ったもの食おうぜ。お
お、そうだ、酒も持ってくる。

タチカラオ、一升瓶を持ってきて、みんなに振
る舞う。

タチカラオ それじゃあ、みんなで大きな声で！

神々たち カンパーイ！

神々たち、振る舞われた酒と食べ物を食べて賑
やかにやっている、岩戸がちよつと開いて、
アマテラスがちらつと顔を出す。神々たちの様
子をじーつと眺めているアマテラス。

オモイカネ おお、我らがアマテラス様！

神々たち アマテラス様！

オモイカネ どうですか、我らと一杯やりませんか？

アマテラス (しらけた目で) ……。

タチカラオ アマテラス様、チップスもあります！

タチカラオがチップスを差しだそうとすると岩

戸がぴしゃっと閉まる。

オモイカネ タチカラオ……。

タチカラオ チップス、だめでしたかね？

オモイカネ まずは順当に団子とかからだろ！

タチカラオ ……。

アメノコヤネ でも顔出しましたね。

フトダマ 声は中に聞こえるらしい。

アメノウズメ そりゃあ、これだけ賑やかにやっつてればね。

アメノコヤネ でもだめだったと……。

オモイカネ うーん、これだめだったかあ。他の手、考えるか

……。

タヂカラオ もうちよつとだつたと思う……。

アメノウズメ ちよつと私は化粧なおしてくる。

アメノコヤネ こんなときに身だしなみ？

アメノウズメ 女子に身だしなみは付き物です。

オモイカネ (何かに気付き) あっ！

フトダマ どうした？

オモイカネ それだ。身だしなみ。鏡だ。鏡持ってこい。

フトダマ 八咫鏡(やたのかがみ) っていういい鏡がある。そ

いつを持って来たらどうだろう。

オモイカネ うん、それでいい。フトダマ、持ってきてくれ。

フトダマ あいよ。

フトダマ、丸い手鏡を持ってくる。

オモイカネ あと宝石だ。女は宝石に目がない。

タヂカラオ オモイカネ、何を考えてるんだ？

オモイカネ いいから言うとおりにしろ。宝石だ。いい宝石な

いか？

アメノコヤネ 八咫瓊勾玉(やさかにのまがたま) っていう良

い宝石を見つけて持つてるけど……。

オモイカネ それだ、それ持ってきてくれ。

アメノコヤネ いや、別の子にあげようと思ってたんだけど。

オモイカネ そんなこと言ってる場合か！ 今すぐ持つてこい！

アメノコヤネ しょうがないなあ。

アメノコヤネ、勾玉（まがたま）を持つてくる。

オモイカネ よしっ、鏡と宝石が揃った。

アメノウズメ どうするつもりなの？

オモイカネ アマテラス様には、この宝石をつけて、光り輝く自分の姿を鏡で見えていただく。だがそのためには、これをアマテラス様は受け取らねばならん。

フトダマ ああ、そういうことかあ……。

タチカラオ なんだ、おれはわからんぞ。

アメノコヤネ 鏡と宝石を手渡すタイミングでアマテラス様を岩戸から引っ張り出す……。

オモイカネ そういうことだ、アメノコヤネ。いい案だろ。女神（によしん）のアマテラス様なら、これに乗ってくると踏んだ。

フトダマ でもどうやって、この鏡と宝石をアマテラス様に見せるんだ？

オモイカネ そこなんだよなあ……。

タチカラオ また飲んで食ってするかあ？

オモイカネ いや、同じことやってももう顔出さないだろ。む

しろポテトチップでアマテラス様は気分を害された可能性も

ある。

タチカラオ ……。

オモイカネ 何か鏡と宝石を見ていただくいい手はないか？

アメノウズメ 騒ぐしかないんじゃない？

オモイカネ 騒ぐ？

アメノウズメ 何をまた賑やかにやってるんだらうと岩戸の奥

まで聞こえるようにしないと。

フトダマ また飲んで食ってしてると思うんじゃないの？

アメノウズメ Mカモン！

アメノコヤネ えっ？

アメノウズメ 私、踊る。ミュージック、スタート！

M「恋するフォーチュンクッキー」

〈他のダンス曲でも構わない〉

アメノウズメとともに神々たち踊る。

天岩戸が開き、アマテラス、楽しく踊る神々たちを見ている。

M、フェードアウト。

アマテラス (たまらず) あなたたちは私が岩戸の奥にこもっているというのになぜ、そんなに楽しく踊っているのです！
オモイカネ アマテラス様、このオモイカネ、他の神々の力を借りて、八尺瓊勾玉(やさかにのまがたま)という世にも珍しい至高の宝石を手に入れました。それで喜び踊っているのです。

アマテラス 宝石……。

アメノコヤネ アマテラス様、これです！ この世に二つとない勾玉(まがたま)です。

アメノコヤネ、勾玉（まがたま）をアマテラスに見せる。

フトダマ 鏡もあります。勾玉をつけて、ご自分のお姿を見てみてはいかがでしょう？

アマテラス この世に二つとない勾玉（まがたま）……。

オモイカネ 美しいお姿を私たちにも見せてください。

アマテラス ……。

オモイカネ さあ、またとない機会かもしれません。お似合いであれば、この勾玉（まがたま）、アマテラス様に差し上げます。

アマテラス 私にくれるのですか！？

オモイカネ ええ。

アマテラス ……ならば一度。

アマテラス、岩戸を少し開く。

オモイカネ アメノコヤネ、勾玉（まがたま）を。フトダマ、鏡を、アマテラス様にお渡ししろ。

アメノコヤネ、フトダマ、アマテラスに勾玉と鏡を渡す。

アマテラス、勾玉を首にかけ、鏡で自分の姿を見ている。

オモイカネ アマテラス様、それでは私たちに美しいお姿がよく見えません。もつと良く見せてください。

アマテラス ……。

アマテラス、岩戸を少し開く。

オモイカネ 今だ！

神々たち、アマテラスの腕をつかむ。

アマテラス これ、何をするのです！

タチカラオ、開いた岩にしがみつき

タチカラオ この岩、このタチカラオがどけてみせようぞ！

タチカラオ、岩戸を渾身の力で大きく開く。

照明、一気に明るくなる。

アマテラス 何という乱暴な……。

神々たち、アマテラスの腕から手を離す。

オモイカネ 無礼をお許しください、アマテラス様！ アマテラス様が岩戸にお隠れになったあと、世は暗闇となり、悪神（あくしん）がはびこり、世はすっかり乱れてしまったのです。

アマテラス そうですか……。

オモイカネ スサノオは、我ら八百万（やおよろず）の神々の力でどうにかいたします。

神々たち、腰をおろし、アマテラスに平伏する。

アマテラス では、この世の乱れを皆の力で正（ただ）しまし
よう。

神々たち、全員、去る。

スサノオが出てくる。

向かい側からイザナギが出てくる。イザナギ、
太いペンチのようなものを持っている。

スサノオ 父上。

イザナギ スサノオ、八百万（やおよろず）の神々から聞いた
ぞ。乱暴狼藉（らんぼうろうぜき）で世を乱しおって。勘弁
ならん。

八百万（やおよろず）の神々が出てくる。

イザナギ 皆の者、スサノオを取り押さえよ！

神々、スサノオを取り押さえる。

スサノオ 父上、何をなさるのですか！

イザナギ この鍛冶（かじ）道具でお前のひげと爪のすべてを

はぎとり、二度と天上世界に戻れぬようにしてやるわ！

スサノオ 父上、お許してください！

イザナギ このイザナギが本気で怒ったときの怖さ、お前に知らしめてやるわ！

暗転。

スサノオ ぎゃあああああああああ！

〈幕〉